

令和8年度7月 定例教育委員会

■日 時 令和8年7月14日(火)15:00～

■場 所 高森町公民館会議室

■参集範囲

教育委員:高野教育長、熊谷委員、松尾委員、城子委員

事務局:清水事務局長、久保田局長補佐兼こども未来係長、伊藤こども未来係長、木村(紘)生涯学習・スポーツ係長、古林国スポ推進室係長、木村(彰)給食センター所長

保育園 :大平山吹保育園長

1. 開会

2. 前回の会議録の承認

→承認

3. 教育長あいさつ

4. 教育長からの報告

暑い中、集まりいただき感謝する。本日は7月の定例会として、保育園の状況報告や、近況についての意見交換を行いたい。

所用により本日は湯澤職務代理が欠席となっている。

事務局長

教育委員会は教育長を含め5名で構成されるが、過半数(3名以上)の出席で成立する。本日は定足数を満たしている。

5. 協議報告事項(各係からの報告)

◆榑澤指導主事

長野市にて担当者会議のため欠席

◆事務局長

- ・大雨による南小学校通学路の一部崩落
- ・山吹区における熊目撃情報

最近、クマの情報が出ている。今朝も連絡があり、役場から保護者向けメール(テトル)を配信し、町民向けにLINEやホームページでも周知を行う。

また、大雨の影響で南小学校の東側の道路が一部崩落し、全面通行止めとなっている。現在はブルーシートでの養生など応急処置を済ませ、人が通れる状態にはなっている。明日以降、学校と相談して通行止めを解除するか判断する。なお、本格的な復旧工事には、予算措置や業者選定を含め、最低でも6ヶ月はかかる見込みとのこと。

◆こども未来係

- ・学童プロポ募集状況

前回の定例教育委員会でご説明した高森町の学童運営業務について募集をかけたところ、7月13日の締め切りまでに1社から応募があった。今後の流れとしては、8月1日にプロポーザルのプレゼンテーションと審査を行い、8月下旬に内容を精査して進めていく予定である。

◆生涯学習・スポーツ係(図書館含む)

・町民体育館研修室・体力相談室改修工事竣工

木村係長

体育館の研修室・体力相談室の工事が完了した。エアコンの設置や床の張り替えにより、非常に綺麗になっている。福祉センターが使えない間の代替場所としても、ぜひ活用を案内してほしい。

熊谷委員

エアコンが設置された部屋(体力相談室や研修室)の広さはどのくらいか。

木村係長

体力相談室はこの会議室よりは狭いが、研修室についてはある程度の広さはある。

熊谷委員

町体育館全体にエアコンが入ったわけではないのか。

木村係長

アリーナには大型の冷風機を4箇所設置している。後ろから熱を出すタイプではなく、冷たい風を出しながら熱い空気を上方の窓から逃がす形で、全体を冷やすタイプである。

熊谷委員

スポーツ大会の際などに、子どもたちが「暑いな」と感じた時に、これらエアコンのある部屋を積極的に休憩所として開放すべきだと考える。「気温が何度にならないとスイッチを入れない」といった制限は設けず、子どもたちの安全を最優先に活用していきたい。2階の卓球場はエアコン設置はどうなっているか。

木村係長

まだ十分な対応ができておらず、今後の課題の一つである。なお予約については、今までのシステムの中で会議室等を選択できるようになっており、変わらず運用している。

・スポーツ推進計画策定委員会(第1回)

R8/7/15(水) 19時から @公民館会議室1・2

・北部町村の部活動地域展開の連携について

木村係長

6月30日に北部の町村の担当者が集まり、部活動の地域展開に向けた連携について協議した。結論としては、まずは各町村で判断しながら、単独での運営が困難なチームが出てきた際、北部地区でカップリング(統合)していく方針を確認した。高森町でも野球などは既に豊丘村の生徒と一緒に

に活動している事例がある。今後は「北部事務組合」の中にワーキンググループを設置し、事務局職員が課題を研究していくことになった。

教育長同士、教育委員会事務局としては数年前から連携したいと言っていたが、首長たちの理解がなかなか得られなかった。しかし今年度、壬生町長が事務組合の管理者となり、リーダーシップを発揮して「北部連携を進めるべきだ」と動いてくれている。

高野教育長

先生同士の繋がりと一緒にやっているケースもあるが、先生が異動すると終わってしまう。今後は学校現場の相談も必ず教育委員会を通してもらい、場当たりのではない「北部全体」としての持続可能な仕組みを作っていきたい。

◆国民スポーツ大会推進室

・総務企画専門委員会(7/10(金)15時～)の審議事項について

第1号議案 高森町開催推進総合計画(案) 可決

第2号議案 高森町広報基本計画(案) 可決

第3号議案 高森町町民運動基本計画(案) 可決

第4号議案 高森町歓迎・おもてなし基本計画(案) 可決

第5号議案 高森町協賛取扱要項(案) 可決

第6号議案 高森町ボランティア募集要項(案) 可決

古林係長

7月10日に第1回企画専門委員会を開催し、6つの事項について審議・決定した。

熊谷委員

以前から提案しているが、学校をいかに巻き込むかが重要だ。校長や教頭の反応はどうか。

古林係長

小学生には「花いっぱい運動」での協力を依頼しており、教頭先生からも前向きな返答をいただいている。中学生には会場運営のボランティアだけでなく、競技運営の補助にも関わってもらう予定だ。今月末の専門委員会には中学校の校長も出席し、具体的に協議する。

熊谷委員

今の小学5年生や6年生が、開催時に中学・高校生として関わることになる。ぜひ考慮してほしい。自分も競技者の一人だが、身内だけの寂しい大会も経験している。一流のプレーを間近で見られる数少ない機会なので、クラス単位での観戦や、長野オリンピックの時のように「一校一国(一県)運動」として各県を応援する取り組みなど、子どもたちが喜んで関われる工夫をしてほしい。

木村係長

鹿児島大会は人が少なかったが、滋賀大会は非常に盛り上がっていた。場所やアクセスの影響もあるだろうが、高森でもしっかり盛り上げたい。

- ・シニア大学絵手紙班の皆さんによるカウントダウンボードの制作について

古林係長

シニア大学の絵手紙班の協力により、大会カウントダウンボードを作成中だ。8月の活動で完成したものを加工し、ふるさと祭りで披露したい。

- ・国スポPR用ポロシャツの職員着用について

古林係長

職員はPRのため、毎週水曜日に国スポポロシャツを着用している。高森町で開催されるカヌーとビーチバレーが「水辺」の競技であることにちなんでいる。

- ・全日本天竜川カヌー競技大会の開催について

R8/8/23(日) 開会式9時、競技開始10時～

古林係長

8月23日の全日本天竜川カヌー協議大会には、現在24名の申し込みがある。最終的には例年並みの100人前後になる見込みだ。今年は商工会による振る舞いに加え、キッチンカーの出店も予定している。

◆学校給食センター

◆保育園

6. その他

事務事業外部評価会議

事務局長

7月29日に事務事業の外部評価会議がある。教育委員会からは「自分らしい学び応援事業」が評価対象となった。不登校児童生徒数は令和5年度がピークだったが、現在は増加に歯止めがかかり、横ばいか微減の状況だ。これまでの取り組みとして、「ぱれっと」は居場所作りに注力し、「トコトン事業」の糊澤指導主事は「学校そのものを楽しくする」「そもそも学校に行きたくない子を増やさない」という未然防止の役割を担っている。この役割分担が成果として出ていることを評価会議で伝えたい。

静岡県函南町への視察報告(事務局長)

園小の接続

東小学校では、4月の1ヶ月間はほとんど教科書を使わない。「のびのびタイム」「なかよしタイム」といった時間を設け、遊びから学びへ緩やかに繋がっている。その結果、以前は毎日30～40名いた欠席者が、今では1桁(4名程度)まで激減し、欠席ゼロの日も出ている。

教えない授業

1年生の朝顔の授業では、先生が種まきの方法を細かく教えない。タブレットの資料を自分で読み込んだ子だけが肥料の必要性に気づく、といった「自分で考えさせる」スタイルを徹底していた。

幼児教育センター

市町村レベルでセンターを設置しているのは全国的にも珍しい。コーディネーターが数名配置されており幼・保と小学校の架け橋となっている。

研修の充実

町全体で「往還研修(学んだことを実践し、また持ち寄って検証するサイクル)」を徹底しており、非常に質の高い連携が行われていた。

関口園長

函南町では「こども家庭センター」と「教育委員会」が密接に繋がっており、組織が一体となって子どもを支えている点が印象深かった。高森町でもこの繋がりをさらに大事にする必要があると感じた。

7. 日程等

7月17日(金) 三遠南信教育サミット@阿智村

7月25日(土)26日(日)9:00~15:30 時の駅夏休み親子体験教室 @時の駅

7月27日、7月28日、7月29日 夏休み宿題サポート9:00~11:00@町内6か所

7月29日(水)終日事務事業外部評価会議

7月29日(水)9:00~14:30園小中合同研修(TOCO-TON事業)

8月01日(土)19:00~20:00 時の駅夏の特別企画「ナイト・ミュージアム」

8月01日(土)~8月10日(月)明治大学野球部合宿

8月01日(土)9:00~育成会「夏のふれあい交流会」@中学校プール他

8月02日(日)9:00~11:30 時の駅夏休み親子体験教室@時の駅

8月05日(水)~8月07日(金)平和へのかけはし使節団 広島平和バス

8月05日(水)平和バス出発式 06:10~@丸山公園(雨天の場合は町民体育館。5:00に有線及びSNS等でお知らせ)

8月05日(水)ふれあいスクール運営業務委託 プレゼンテーション審査 14:00~@役場3階小会議室

8月07日(金)平和バス帰庁式 18:10~@公民館前(雨天の場合は町体ロビー)

8月08日(土)9:00~ 明治大学野球教室 @飯田県営球場

8月15日(土)~8月16日(日)島岡吉郎旗中学生大会@中学校グラウンド他

8月19日(水)TOCO-TON関連事業研修@中央公民館※午後からの予定

・「SELの理論と実践」について

8月23日(日)全日本天竜川カヌー競技大会(開会式は山吹クラブハウス横多目的広場)

8月29日(土)第19回武田信玄狼煙リレー8:30~9:30 @吉田城山城址公園

8月29日(土)平和へのかけはし使節団平和バス報告会10:00~@公民館大会議室

8. 閉会

<三校学期末校長会> 16:30～

1.開会

教育委員:高野教育長、熊谷委員、松尾委員、城子委員

学校:田本南小学校長、辰野北小学校長、飯野中学校長

保育園 :大平山吹保育園長、関口下市田保育園長

事務局:清水事務局長、久保田局長補佐兼こども未来係長、伊藤こども未来係長、木村(紘)生涯学習・スポーツ係長、古林国スポ推進室係長

2.協議・報告事項…三校の校長先生から1学期の報告

高野教育長

本日は各学校、園から1学期の報告と今後の計画について、それぞれ6分程度で話をしてもらう。各発表後に質疑応答を行い、最後に全体を通しての質問や感想、意見を出す時間を設ける。

1. 南小学校からの報告と質疑応答(田本校長)

昨年度は「繋げるためにやってみよう」を目標に掲げ、6年生を中心に挑戦してきた。本年度はそこに「自分から」を加え、「繋げるために自分からやってみよう」を重点目標としている。

音楽会の取り組み

6年生に内容を委ねた。対話を行い、AIを使って意見をカテゴライズし、子どもたちが自分たちでテーマや構成(オープニング・エンディング)を考えた。

サクっこタイム

4～6年生の縦割り総合学習(探究の場)として、2学期から本格始動する。子どもたちからは「穴掘り」「秘密基地作り」「アニメ制作」など多様なアイデアが出ている。

アンケート結果

1年生は100%が「学校が楽しい」と回答。全体でも85.4%が肯定的である。

高野教育長

「サクっこ」の意味は何か。

田本校長

昨年度の6年生が作った、桜のキャラクター名である。

城子委員

音楽会の実行委員会はどう構成されたか。

田本校長

各クラス2名の立候補制。やりたいことが多すぎてジャンケンになるほど意欲的だった。言葉選びも、AIが整理した意見を子どもたちが組み合わせて作成した。

城子委員

サクっとタイムで教科、例えば算数をやりたい子はいないのか。

田本校長

算数は実施していないが、歴史調べや街並みの調査など、教科の延長線上のものはある。

城子委員

日課変更(ロングタイム導入)による保護者の反応はどうか。

田本校長

放課後の時間を工夫し、帰宅時刻を大きく変えないようにした。子どもたちが時間を楽しんでいるため、保護者からも肯定的、または「友達との関係が良くなった」という意見が出ている。

2. 北小学校からの報告と質疑応答(辰野校長)

重点目標は昨年度同様「つながる ひびきあう 1UP」である。

夢を語る会

縦割り班で行い、異学年での対話を通して子どもたちの表現力を引き出している。

音楽会

6年生全員が何らかの役割に関わり、全校合唱も6年生の選曲で行った。教職員も共に歌い、学校全体にまとまりが生まれた。

地域密着

クラブ活動は全て地域講師が担当し、ホタル祭りなど地域行事にも子どもたちが主体的に関わっている。

交流給食

職員間では安全面等の懸念もあったが、ステップを踏んで実施に漕ぎ着けた。

城子委員

交流給食に関して難色を示す職員がいたのはなぜか。

辰野校長

教室で食べる方が楽だという思いや、安全面・衛生面への不安があった。しかし、子どもたちの「やりたい」という声と、実際に楽しんでいる姿を見て、教職員の意識改革を進めているところだ。

熊谷委員

6年生の姿を見て、以前より表現力が改善されていると感じた。

3. 中学校からの報告と質疑応答(飯野校長)

昨年度からの「自ら考え行動する生徒」を継承しつつ、心理的安定性と自己・相互理解を重視している。

学級づくり

学級通信に子どもの日記を実名で載せ、お互いの考えを知る機会を作っている。

行事

のど自慢大会(有志発表)や大縄交流会を実施。応援し合える良い雰囲気がある。

地域貢献

地域応援ボランティアのリピーターが多い。また、難民に服を送る「服の力」プロジェクトも始まっている。

働き方改革

月1回の定時退勤日を徹底している。

城子委員

SEL(社会性的・感情的学習)のアイスブレイクとは具体的に何か。

飯野校長

道徳の授業の冒頭などで、子どもの心をほぐし関わりを促進する簡単なゲーム等を行うことだ。

城子委員

実名紹介は個人情報の観点で問題ないのか。

飯野校長

意図を説明した上で進めている。名前を出すことで、その子の表現の良さを皆で共有できている。

城子委員

高森町に来て、率直な印象はどうか。

飯野校長

教育委員会との距離が近く、相談しやすい。また、不登校生徒に対しても関係機関が一体となって支える体制があり、非常にありがたい。

4. 山吹保育園からの報告(大平園長)

「やってみよう、が溢れること」を目標としている。

自然体験

地域の方の畑での虫探しや草花収集など、豊かな自然を活かした保育を展開している。

人との関わり

高齢者施設(山本の里)との交流を開始。子どもたちの元気な姿が、高齢者の方々の力にもなっている。

家庭支援

外国籍の家庭に対し、翻訳アプリやボランティアセンターと連携して支援している。また、愛着形成についての講演会も実施した。

5. 下市田保育園からの報告(関口園長)

学校、地域、家庭が一つになって子どもを支える姿を大切にしている。

遊びの深まり

ムクロジの実を使った泡遊びや、昨年度からの経験を活かしたカブトムシの飼育など、子どもたちが自ら考え、命に向き合う姿が見られる。

小中・地域交流

小学校の中庭で遊ばせてもらったり、3年生が幼虫を見せに来てくれたりと、日常的な交流が安心感に繋がっている。中学生とも家庭科の授業等を通じて交流している。

課題

保護者向け講演会への参加を呼びかけたが、無断欠席が一定数あった。今の時代の保護者へのアプローチを再考する必要がある。

6. 全体質疑・意見交換

城子委員

特別支援学校との交流、いわゆる副学籍の状況はどうか。

田本南小校長

6年生と一緒にジャンケンなどで遊び、長く交流しているため非常に親しげである。

辰野北小校長

1年生に1名在籍。まずは支援学校での生活に慣れることを優先し、今後検討する。

飯野中学校長

2年生に1名在籍。計画中である。

熊谷委員

山道などの凸凹道を歩く経験は、バランス感覚(体幹)だけでなく、心の安定にも繋がると聞く。是非続けてほしい。

田本南小学校長

保育園での愛着形成の取り組みは非常に重要。土台ができていないと、集団の中でどう振る舞えばいいかわからず、マウントを取るような行動に繋がることもある。幼・小・中の接続をさらに深めたい。

事務局長

SEL(Social Emotional Learning)導入の成果について、校長方の肌感覚を聞きたい。行政が「やれ」と言ったからやるのではなく、現場での効果が重要だと感じている。

辰野北小校長

普段関わらない子ともレクリエーションを通じて交流できており、クラスが穏やかになっている一因だと感じている。

事務局長

愛着の問題など、課題意識を持って導入した経緯があるので、率直な意見をフィードバックしてほしい。

教育長

学校、園など、全体で「やってみよう」という気持ちを大切にし、遊びから学びや育つ雰囲気ができてきていると感じる。

(閉会)